

■2月定例会 日本工営福島事業所

◆日時：2019年2月21日（木）15:00～17:00

◆場所：日本工営福島事業所

福島県須賀川市森宿字道久1番地22

<https://www.n-koei.co.jp/profile/company/office/hokkaido-tohoku.html>

◆集合：東北新幹線 郡山駅集合 タクシーにて移動

◆集合場所：JR 郡山駅 新幹線中央口改札前

<https://www.jreast.co.jp/estation/stations/675.html>

◆アジェンダ

テーマ：「水力発電設備などの工場見学、エネルギーマネージメント・蓄電ビジネスへの取組みの紹介」

(1) 15:00～15:10 日本工営様事業ご紹介 イン트로ダクション

(2) 15:10～15:55 工場見学

フランス水車やペルトン水車製作工場、制御盤製造、ダム監視制御システムの見学に加え、

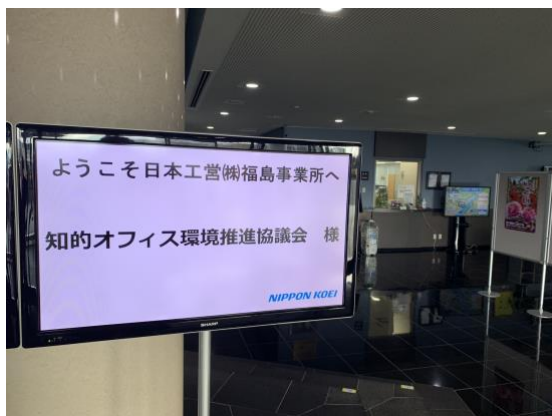
太陽光発電や大型蓄電池を利用したエネルギーマネージメントシステムを紹介します。

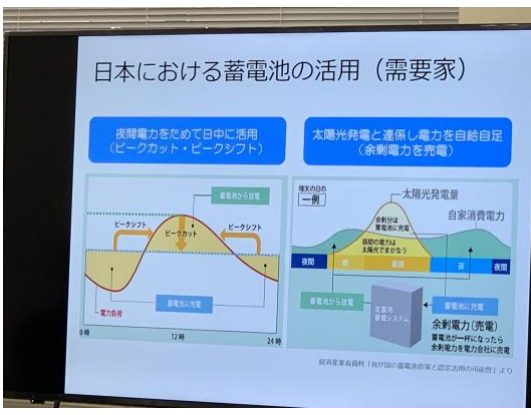
(3) 16:00～16:20 福島事業所におけるエネルギーマネージメントへの取組み

(4) 16:20～16:40 国内外における蓄電ビジネスへの取組みの紹介

(5) 16:40～17:00 まとめ、質疑応答など

◆当日の写真





◆開催関係者への礼状その1

日本工営株式会社
パワー&デジタルビジネスユニット
研究開発室室長
小川隆行様

写：アズビル株式会社 平田眞基様、運営委員各位、
理事・正・準会員各位

過日、2月21日（木）には貴社にて知的オフィス環境推進協議会の運営委員会および定例研究会を開催させていただき、誠に有り難うございました。
運営委員会の前に、郡山駅から貴社に向かう途中にて、相手の不注意による追突事故に遭遇し、
貴社の送迎車を運転して下さった柳沼様には大変なお世話になりました。
また、アズビル株式会社の平田様や三菱電機株式会社の原田様にもいろいろご連絡をいただき、深く感謝を申し上げます。

このため、運営委員会の開催が遅れ、また定例研究会も短縮となり、貴社の皆さまの折角のご講演が短縮となったり、見学場所が変更になるなど、大変ご迷惑をおかけしました。
誠に残念です。

しかしながら、平田様のご講演、小川様のご講演、そしてもう一人の方（お名刺を交換できず大変失礼致しました）のご講演ではじめて電力需給に関する世界的な動きと日本の課題について知ることができ、大変貴重な研究会となりました。
誠に有り難く、貴社の皆さまのご高配に深く感謝を申し上げます。

まず、貴社が日本最大の建設コンサルティング会社であることも知らず、大変失礼しました。一方、小川様には私がコンピュータの専門分野であることや小川様自身もコンピュータ分野のご出身であること、とても驚きました。

いままで建設、建築と言えば、大手4大ゼネコンと本会の会員でもある東急建設株式会社や三井住友建設株式会社などしか知らなかった私ですが、

土木と建築の違いや、建設コンサルティングという業種があること、電力需給のビジネス化やVPPなどに関するお話はとても興味深く聞かせていただきました。

特に、ヨーロッパですでに15秒単位での電力需給バランスを取り、周波数の安定化やデマンドレスポンスに大規模なリチウムイオン電池が活躍し、仮想発電所（VPP）というビジネスが成立していることは驚きでした。日本では、太陽光発電や風力発電が増えると火力発電所が増え、CO2が増えるという矛盾を抱えていることも驚きでした。

さらに、ビルと電気自動車（EV）とが電力を融通し、デマンドレスポンスに対応する仕組みは、まさに次世代のビルの価値を高めるシステムであり、そのためにはビルの省エネルギーだけでなく、消費量の予測、EVの利用予測など、複雑なビッグデータ解析に基づいて最適な電力制御が今後必要になると思われます。

日本工営様がイギリスで大規模な蓄電池を持ち、需給の制御の最適化などにもすでに着手されていること、大変感動的でした。

また、見学では水車の製造や電力機器の絶縁油の膨張を吸収する機器、水力発電所の配管機器、電力線のノイズをとる大型のフィルター、500KWのリチウムイオン電源装置などを拝見させていただき、貴社の中で太陽光の変動を吸収し、買電を最小化する電力制御システムの動きなどを見せていただき、これからの社会で電力という最も重要なエネルギーの需給バランスを最適化することが今後必要になる技術だと知りました。

今回の貴社での研究会は小川様はじめご関係者の皆さまには大変お世話になりました。また、今回の研究会をご企画いただいたアズビル株式会社の平田様には新たな知見を与えていただきましたこと、有り難うございました。

それでは、日本にも電力の新たな市場が形成されることを願い、その際には日本工営様が海外で得た知識と技術を基に日本のエネルギー事情を少しでも進歩させていただけることを期待しております。

有り難うございました。

◆開催関係者への礼状その2

日本工営株式会社

小川隆行様

写：会員各位

同志社大学理工学部 三木です。

下記の件、ご教示有り難うございました。

15分間隔の電力売買の話と周波数安定の話を混同しました。

周波数変動に関しては0.5秒単位でした。

すごいレスポンスで、驚きました。

また、清水達明様、柳沼一喜様には大変お世話になりました。

改めてお礼を申し上げます。

それでは、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ご指摘有り難うございました。